令和６年７月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　　令和６年６月２７日（木）
２．開 催 日 時　　令和６年７月１７日（水）　１３時３０分～１５時３０分
３．開 催 場 所　　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　　２３人
５．監 事 総 数　　３人
６．出席理事数　　１８人（Web 会議システムによる出席１８人）
７．出席監事数　　３人（Web 会議システムによる出席　３人）
８．出席理事の氏名
嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、玉木 寛之、安室 篤志、田村 大輔、二瓶　啓、上島　健、秋山 正稔、山田　毅、富居 博治、高橋　明、横山 聡洋、竹内 博次、秦　研二、平井 英次、藤田 亮則、後藤 章洋
９．出席監事の氏名
熊木　宏、近藤 恭二、山口 直延
１０．出席組合員の氏名
出席組合員はいない
１１．議長の氏名
嶋崎 利行
１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
該当する理事はいない
１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）
定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　相談役について
嶋崎議長から、平成２８年９月２１日の理事会の決議を経て相談役に就任した田村捷也氏から辞意の申し出があり、慰留したがご本人の意志が固いため、受理をしたいことの説明があり、全員意義なく承認した。
続いて後任の相談役について検討したい旨述べられ、定款第２６条（顧問および相談役）により、元理事長の齋藤基樹氏に相談役をお願いしたい旨述べられた。
嶋崎議長は、齋藤基樹元理事長の相談役就任について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。
齊藤相談役から挨拶があった。

第２号議案　新規加入及び脱退組合員について
嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、７月１日付での加入申込みのあった新規加入組合員１社と脱退組合員１社について説明があった。新規加入の埼玉車体株式会社につ

いては、６月２８日に横山理事と説明に伺ったことと加入の目的が人材育成であることの報告があった。脱退の株式会社青木製作所は、経費の削減り理由による脱退であることの報告があった。７月１日付けで組合員数７８社、賛助会員数４１社、計１１９社になることの説明があった。

（新規加入）
会社名　　埼玉車体株式会社　　（加入年月日：令和６年７月１日）
　　代表取締役社長　大竹 譲司 氏
住　所　　〒３５０－１１６５ 埼玉県川越市南台１丁目５番４号
　　TEL：０４９－２４６－４７６１、FAX：０４９－２４６－４７６５
（脱　　退）
会社名　　株式会社青木製作所
　　代表取締役社長　青木　　順 氏　（平成１７年１２月加入）

嶋崎議長から、組合員が減らさないために組合加入のメリットの周知について協力要請があった。

横山理事から、埼玉車体株式会社から７月２０日、２１日開催の金属熱処理技能検定試験受験対策講習会に参加申込があったことの報告があった。

嶋崎議長は、組合員の新規加入及び脱退について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、６月２０日に開催された令和６年度第１回青年部会について、議事録に基づき説明があった。今年度の活動計画については、４つの柱（ア．講演会・セミナーの開催、イ．熱処理業界のPR、ウ．関東経済産業局との連携、エ．メンバーからの提案）について取組み、年３回開催する。

熱処理業界のPRについては、西部金属熱処理工業協同組合で行っている「出前授業」に新たに取組むことと東京都中小企業団体中央会主催の「組合まつり」に３回目の出展をすることになる。

山田部会長から、「出前授業」に関して東京都立多摩工科高等学校（担当：デュアルシステム科長　星輝彦先生）に提出した提案書に基づき説明があった。内容については、①学校からの要望もあり「座学と実習」を行うこと、②「座学」については、西部金属熱処理工業協同組合の構成を基に熱処理技術の歴史や原理・応用について説明する、③「実習」については、YouTube動画を参考にしてピアノ線を使った「焼入れ、焼戻し」を経験してもらう内容にする、④安全性については、担当の星先生から化学実験室にバーナーがあり、普段から使用している旨の回答があったので、問題ないと判断している。

続いて、山田部会長から、昨日星先生から実施時期について１２月中旬または２月を予定している旨の連絡があり、１０月の「組合まつり」と重ならなくて良かったと説明があった。

※ピアノ線の「焼入れ、焼戻し」のYouTube動画を視聴する。

嶋崎議長から、実習については学生に行わせるとなると失敗する可能性があるのと、座学を２０分で行い、実習を含めて５０分の授業内で伝えるのは難しいと思うので、9月２０日の理事会でプレゼンが可能かと質問があり、山田部会長から、当初の１０月から１２月中

旬に予定が変更になったが、９月の理事会では難しいと回答があった。

嶋崎議長から、１２月１１日予定の理事会でプレゼンが出来れば良いが、初めての試みなので、理事・監事にプレゼンを実施して情報を共有しながら進めたいと考えていると述べられた。

事務局から、参考として西部金属熱処理工業協同組合の出前授業の資料を画面共有し、座学の構成について説明があった。山田部会長からこの資料を参考にして青年部会メンバーで役割分担して資料作りを検討していると説明があった。

嶋崎議長から、良く出来ている資料と評価があり、東部の特色が付けられれば良いと意見があり、今後のロードマップを示して欲しいと述べられた。

事務局から、「組合まつり」への出展の可否の判断について提案があった。

嶋崎議長から、「組合まつり」での実演について質問があり、山田部会長から出前授業と同様の内容で行いたいが、会場の火器使用のルールがあるので、主催者側からの回答を待っている状況であることの説明があった。

嶋崎議長から、「組合まつり」への出展について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

嶋崎議長から、「出前授業」と「組合まつり」については、青年部会中心で進めて欲しいと述べられた。

第４号議案　BCP 推進 WG の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から５月１５日に開催された令和６年度第１回 BCP 推進 WG について報告があった。主な内容としては、①令和６年度の活動内容について（２４ブロックエリアの確認と災害時の情報取集のためのエリアリーダーの選出、WG メンバーの２名体制の構築）、②情報共有に関する協定書について、③メンバー各社の BCP 運用状況について。２４ブロックのエリアリーダーの選出については、理事・監事の企業に協力をお願いしたい。

玉木副理事長から、２４ブロックエリア分けについては、被災した企業の復興支援を行うことを目的としていることについて説明があり、被災した企業からの情報入手が難しいため、近隣の組合員企業からの情報提供をお願いするためにエリアリーダーの仕組みを考えたが、WG メンバーまたは理事・監事の企業がすべてのエリアをカバーしている訳ではないため、エリアリーダー選出のお願い文案を作成し、エリアリーダー候補の組合員企業の代表者にお願いしたいことの説明があった。文案については、２４日の第２回 BCP 推進 WG で更に内容を検討して次回の理事会に提案したいと考えていることと被災した企業の情報については、デリケートな内容になるので、情報共有の協定書も検討していることの説明があった。

嶋崎議長から、BCP に長年取組んで来ているが、今後の方向についてロードマップを示して欲しいと意見があった。戦術はあるが、戦略を示さないと見え辛くなって来ているので、今年度の目標や進め方を１期毎とか１年毎に示して説明して欲しいと述べられた。

玉木副理事長から、今年度はエリアリーダーを選出して「連携のネットワーク」を作ることを目的としていることと一度にいろいろなことを行おうとして整理できていないところがあると説明があった。また先日の（一社）日本金属熱処理工業会の総務委員会の際に中部金属熱処理協同組合と西部金属熱処理工業協同組合から BCP の進め方に関する情報提供の依頼があったことの報告があり、WG で意見交換を行う予定であると説明があった。

嶋崎議長から、最終的に（一社）日本金属熱処理工業会としての広域連携をするためには、まず東部として企業間の温度差に統一性を持たせて、遅れている企業には支援するなどして全体の底上げをして内側を固める必要があると述べられた。

田村理事から、良い取り組みだと思うので、エリアリーダーの選出をお願いする前に WG 内で災害が起こったと想定した予行演習を行って、それを基に呼び掛けた方が良いのではないかと意見があった。

玉木副理事長から、当初エリアリーダーを選出して、訓練を年１回行う予定で進めていたが、被災企業の情報を入手するための手段として当時電話と FAX で行っていたため、各組合員企業の担当者の連絡網を構築しないと情報の伝達が出来ないと判断し、その構築を考えていた。ただ、WG 内からも形式だけでも初動対応のシミュレーションを行う必要があると意見が出ているので、同時にその効率的な方法を検討して、年内に示せるようにしたいと述べられた。

田村理事から、どういった形で協力が出来るのか、またして欲しいのかが分からないと対応が難しいことと組合員企業同士が助け合うことは大事だと思うので、課題が多いと思うが上手く進めて欲しいと意見があった。

嶋崎議長から、WG 内で「形」を作って広げて行けば良いと思うので、連絡網についても話し合って、年内に適したものを構築して欲しいと述べられた。

嶋崎議長から、エリアリーダーの選出について意見が求められたが、田村理事から具体的なものが見えないので、時期尚早ではないかと意見があった。

玉木副理事長から、エリアリーダーについては、当初の目的とは違って、その地域の情報収集のみを目的としていることの説明があった。

田村理事から、災害時の対応になるので、具体的なものがないと安易にエリアリーダーとして協力が出来ないと意見があった。

玉木副理事長から、２４日に検討して次回の理事会までに具体性を示せるようにしたいとのべられた。

嶋崎議長から、次回の理事会までに練り込んで賛同得られる形にするように指示があり、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第５号議案　（一社）日本金属熱処理工業会：外国人技能実習制度について

嶋崎議長指名により、安室専務理事から、（一社）日本金属熱処理工業会が昨年１０月に外国人技能実習制度の評価機関として認められてから、４月２６日に初めての評価試験（実習生２名、合格）が実施されたことと今後の評価試験の予定として４件あることと東部でも茨城県で１社実施見込があることの説明があった。

続いて就労目的での特定技能としての外国人材受け入れも可能となったことの報告があり、①対象分野の名称変更、②（一社）日本金属熱処理工業会から問題作成委員の派遣、③（一社）製造業特定技能人材機構が発足予定について説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員意義なく承認された。

第６号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、５月８日と７月１０日に開催した技術・品質合同委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①初級熱処理塾の実施状況等について、②令和６年度活動計画について、③初級熱処理塾反省会及び受講者アンケート結果について、④中級熱処理塾の実施状況等について、⑤今後の活動計画について、⑥（一社）日本金属熱処理工業会について、⑦令和６年度前期金属熱処理技能検定試験（東京都）について

藤田理事から、工場見学会については、水素・電気自動車に関連したところを検討していたが、見学先が決まらない状況であることの報告があり、再スタートということで見学先について情報提供のお願いがあった。

横山理事から、初級熱処理塾について１０日間のカリキュラムとなっているが、新入社員の体力的に厳しいとの意見があり、週２日または３日で分散した形で出来ないかとの意見があった。その場合は、オンライン型であれば可能ではないかと考えているが、今後初級熱処理塾のあり方について悩んでいるとの意見があった。

田村理事から、初級熱処理塾については４月に行うことになっているが、入社してから半年とか経ってからだと身に付くと思うので、時期を見直すのも必要ではないかと意見があり、助成金の関係もあるので、見直しが可能かについて質問があった。

嶋崎議長から、４月でなければダメということはないので、より良いものにして行けば良いと思う。以前は人材養成講座という名称で３週（１３日間）に亘って行っていたので、それだけで助成金の対象となったが、今は幾つかの講習会を受けてもらわないといけなくなって来ている。新卒も取りづらくなっているので、形を変えるのは問題ないが、代替案を出して欲しい旨述べられた。

田村理事から、助成金のためなのか、上期に講習会が集中しているので、助成金が大切なのか、人材育成が大切なのか、基本的な本質を検討する必要があると意見があった。

嶋崎議長から、本日は人材育成であって、助成金は本末転倒である。意見を出し合ってより良い形にすれば良いと意見があった。

高橋理事から、新卒が減って、中途社員が増えて来ているので、時期は選択できると良いと思う。

秦理事から、今年３年目の人材を中級熱処理塾に派遣して受講後、熱処理のことを聞くようになった。初級熱処理塾に派遣した時は訳が分からなかったので、時期を検討するのは良いと思う。

嶋崎議長から、ご意見を参考にして知恵を出しながら検討したいと述べられた。

続いて安室専務理事から、５月１０日と７月１２日に開催したマーケティング委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①第７回価格交渉サポートセミナーについて、②加工価格調査・運送費調査について、③市場動向に関する情報交換について。価格交渉サポートセミナーについては、前回よりステップアップした内容にしたいことと労務費について取り上げたら良いのではないかと意見があり、正副委員長で打合せを行い、９月の委員会までに提案することになったこと。

続いて安室専務理事から、６月１４日開催の第１回総務委員会について議事録の基づき説明があった。主な内容については、①令和６年度の事業計画について（SDGs またはカーボンニュートラルに関するセミナーについて）、②組合 HP について（情報の発信について、企業検索について等）、③（一社）日本金属熱処理工業会総務委員会について

熊木監事（総務委員長）から、今回は委員からいろいろなアイデアや意見が出て来たので、今後は出来ることまたはやるべきことを整理して進めたいと説明があった。

嶋崎議長は、委員会活動について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第７号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和６年１月～７月の組合員の異動について報告があった。

続いて令和６年度東京都中小企業団体中央会会長表彰候補者推薦については、該当者がいないことの報告があった。

続いて第４３回日熱会（東部幹事）の参加申込状況について報告があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和６年７月１７日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　二瓶　啓　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　高橋　明　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

出席理事　竹内 博次　㊞

〃　秦　研二　㊞

〃　平井 平次　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席監事　熊木　宏　㊞

〃　近藤 恭二　㊞

〃　山口 直延　㊞